

日中両国漢字の構成と異同について

張 肅 陳

Construction of the Letters and Diffesence of the meaning Both in Japanese and Chinese Languages

Su Cheng Zhang

ABSTRACT

Using the same letters, the Japanese words involve the different meanings from those of the Chinese Language.

Execpt the words which involve the same meanings Japanese students need to study those of the differnt meaning.

1. はじめに

中国文字は漢字で表記されている表意文字です。すなわち形によって意味を表わします。同じように中国とは海を隔てた隣人である日本人も同じ漢字を使いますが中国語を知らなくても漢字を見れば意味が分かるので日本人にとっては中国語はほかの外国語よりずっと易しく親しみやすいと思われています。

しかし、同じ漢字と言っても時代の変遷によって、いま多くの漢字は字体が変わったばかりでなく、意味もずいぶん違ったものがあります。例えば、「還」という字は中国語の古文では「戻る、帰る」という意味で、李白の詩に「千里江陵一日還」(一日で千里離れた江陵に戻る)という文はありますが、今「還」は「返却」という意味になっています。また、「几」は昔は「つくえ」のことで、今は疑問詞の一つになって、「いくら」という意味になっています。「お湯」も熱い水だったのですが、今はスープのことです。日本語の「お湯」の意味に当たる中国語は「開水」と言います。また、中国でもう使わなくなった字が日本語でまだ使っているものもたくさんあります。

例えば、昔、中国は皇帝の長寿を祝うたびに「万歳」と言ったのですが、現代は皇帝が存在せず、人民大衆は国家の主人公になっていますから、このことばも消えてなくなりました。それに対して、日本語にはまだ残っています。漢字は両国人民の文化交流に大きな便利をもたらしました

たが、漢字にたよりすぎるとまた思わぬ所で中日人民の意思の疎通を欠くことになります。それゆえ、正しく漢字の構成とその意味上の異同を理解することは大切なことだと思います。さらに、日中両国漢字の構成とその異同について、考えてみます。

2. 構成と意味の一致したもの

日本で使用されている漢字は半数以上はその構造も意味も完全に中国語の漢字と同じだと言えます。私たちが使い慣れているこれらの漢字はいくつかのしくみがあります。

(1) 名詞と動詞が結びついたかたちのもの

国立, 地震, 人造

これらはそれぞれ「国が設立する」、「地が震える」、「人が造る」という名詞と動詞が結びあっているかたちです。

(2) 上の字が下の字を修飾するかたちのもの

(a) 名詞の連鎖 (～の～)

牛乳, 童顔, 山頂, 鉄棒

(b) 形容詞+名詞 (～い(しい)～)

黒板, 多数, 親友, 新年, 厚顔

(c) 副詞+動詞

専攻, 逆転, 仮定, 再会

(3) 「～に」、「～を」の部分が下にくるかたちのもの

(a) 動詞+名詞 (～に～する)

就職, 通学, 登山

(b) 動詞+名詞 (～を～する)

読書, 握手, 作文

以上はそれぞれ「職に就く」、「学校に通う」、「山に登る」、「本を読む」、「手を握る」、「文を造る」の意味です。

(4) 並列にかかわりのあることばが結びついたかたちのもの

(a) 反対の意味の字を結びあわせたもの

高低, 勝敗, 遠近, 往復, 強弱, 因果, 貧富, 優劣, 善悪, 賞罰, 黒白

(b) 似かよった意味の字をかさねたもの

選抜, 恐怖, 温暖, 永遠, 休息, 起立

(c) 同じ範囲に属する字を組み合わせたもの

兄弟, 風雨, 草木, 妻子, 山河, 金銀

(d) 同じ字をかさねたものを「重言」ともよばれるもの

刻々, 淡々, 遅々, 堂々, 満々

などがあります。

(5) 特殊な文字をふくむかたちのもの

(a) 上の字が下の字の意味を打ち消しているかたちのもの。例えば

不幸, 不正, 非常, 非凡, 未知, 未定, 否決, 否定, 無能, 無視, 無害

(b) 用言などの上に「被」, 「所」がついてその行為を体言化するもので, 受け身の意味を表わす助詞「被」がつくもの

被害, 被告, 被災

行為の対象や内容を体言化する助字「所」がつくもの

所感, 所望, 所属

(c) 「的」, 「然」, 「化」, 「性」, 「如」など状態や様子を意味する助字が下につくもの

美的, 進化, 悪化, 酸性, 知性, 偶然, 必然, 突如

(d) 同声や同韻の文字を重ねた形のもの

漢字は一字ごとに一音節の発音を持っています。その音は「声」と「韻」とに分離できますが, 音の最初の子音が「声」で, のこりの部分が「韻」と考えられます。

「音」と「韻」が同じであれば, 快いひびきがあり, リズム感を伴うから物事の状態をよく形容している語句が多いと言えます。

こんな語には同じへんになる熟語が多くあります。これは意味記号が同じだということで, それぞれの文字はやや似た意味を担っています。例えば

(a) 双声語: 語韻の子音が同じ語としては

零落, 恍惚, 彷徨, 参差, 凄惨

(b) 疊韻語: 語尾の韻が同じ語としては

逍遙, 散漫, 混沌, 曖昧

以上のものはみんな構造も意味も日中漢字は一致している例です。そのほかに字が反対になっていますけれども, 意味が同じ例もあります。例えば

日 本 語	中 国 語
野 原	原 野
紹 介	介 紹
往 来	来 往
草 花	花 草
謹 厳	厳 謹

などです。

3. 構造は同じですが, 意味が異なるもの

同じ漢字なのに見て全然分からない場合も少なくありません。その中で, 同じ表現だが, 意味が違うものがあります。また中国語にもうなくなった漢字が日本語の中にまだ現存しています。

次の例を見てみましょう。

(1) 同じ形なのに意味が違うもの

日本と中国はお互いに漢字を使っていますから、すべて同じ意味と考えるのは間違いであります。完全に違う意味の漢字もたくさんあります。

例えば、同じ「城」と書いても、日中両国の意味するものは違います。中国では大きな町は外敵の侵入を防ぐために、昔から都市の周りは城壁でとりかこまれています。それゆえに今「城」ということはとりかこんでいる町全体を意味するようになっていました。また「手紙」という日本語は中国語では「チリ紙」、「トイレペーパー」を意味しています。これと同じものを挙げますと次のようなものがあります。

日 本 語	中 国 語
東 西	品 物
汽 車	自動車
丈 夫	主 人
勉 強	無 理
湯	スープ
走 る	歩 く
娘	おかあさん
迷 惑	迷 う
便 宜	安 い
対 象	恋 人
切 手	手を切る
無 理	道理がない
正 体	楷 書
一 定	必ずきつと
喧 嘩	そうぞうしい
出 口	輸 出
愛 人	奥さんまた夫
野 菜	山 菜

以上のように日中両語には意味の全然相異なるものがありますが、それは同じ系統（例えば汽車—自動車はみんな交通機関）でも意味が違うものがあります。また、「走」「湯」などの語は古典中国語では今の日本語と同じ意味でしたが、現代中国語ではその字の意味が変っています。

(2) 意味は同じですが、形が異なるもの

同じ物を意味するときも、その漢字は全然違います。その中には全然違うものと一部分違う例があります。

日中両国漢字の構成と異同について

(a) 一部分違う例

日 本 語	中 国 語
告 白	坦 白
特 急	特 快
寒 波	寒 潮
急 用	急 事
入 賞	入 選
不十分	不充分
標 識	標 志
弁 償	賠 償
評 判	評 価
交通整理	交通整頓

以上は同じ物をさすばあいにおいて、中日両国の漢字が一部分違う例です。

(b) 全然違う例

日 本 語	中 国 語
肩 書	職 称
袋小路	死胡同
番 組	節 目
案山子	稻草人
出 札	買 票
為 替	汇 票
蛇 口	龍 頭
水 爆	気 弾
下 戸	不沾酒
都 合	状 況
埋立地	填筑地
非常口	太平門
片 付	収 拾
朝寝坊	睡懶覚
未 練	依 恋
目 方	重 量
子 役	儿童角色

こんな例は調べてみるとたくさんあります。

(3) 中国語の漢字は日本語より意味が広い

両国文字は同じことを意味することばかりが多いですが、中国語には日本語より意味がさらに展開されていった字も少なくありません。最もありふれた字「好」を例にして説明してみますと、「好感」、「好意」、「好漢」、「好転」、「好天」、「好手」、「好事」、「好奇」などは日本語と中国語は完全に一致していますが、中国語の「好」はさらに挨拶、親愛、容易、効果、程度が深い、数量が多い、時間が長い、原因、目的、被害、独立語などがあって日本語の「好」にはない意味を持っています。次の例文を見てみましょう。

△老張、好久不見，你好嗎？／張さん、お久しぶりですね、お元気ですか

(時間が長い、挨拶)

△他倆好起来了。／あの二人は親しくなりました。(親愛)

△他的話好懂。／かれの話は分かりやすい。(容易)

△生魚片好吃嗎？／さしみは美味しかったですか。(効果)

△今天好冷呀！／今日は本当に寒いですね。(程度が深い)

△小王病了，好多人都去看他。／王さんが病気になったので、大勢の人がみんな見舞いに行きました。(数量が多い)

△別忘了帶傘，下雨好用。／雨が降ったら、使えるように、傘を持っていきなさい。(目的)

△有空我会常来看你，好在我宿舍離這儿不遠。／私の宿舍が近いから、暇な時、また伺います。(原因)

△捱了一頓好罵。／すっかりしかられてしまったのです。(被害)

独立語として使う場合は文頭において、「賛成、承知、完了、不満」などの意味があります。日本語の感動詞と同じです。例えば

△好，就依你說的辦吧！／よし、きみの言う通りにしよう。(賛成)

△請給我找老王。好，請等一下。／王さんをお願いしますが。はい、ちょっとお待ち下さい。(承知)

△好，今天就講到這里。／では、今日はここまでにします。(完了)

△好，那你說該怎麼辦／それなら、一体どうしたらいいか、言ってみて。(不満)

以上の意味は日本語にはないようです。

(4) その国特有の字

日中両国は昔からも文化交流を行ってきたのですが、自然条件の影響によるものか、両国はそれぞれ自分の生活習慣と様式を持っていますので、これを漢字に託して表わしています。

例えば：「花見」、「下駄」、「浴衣」、「昼」、「赤飯」など日本その国の独特な物なので、対応のできる中国語はありません。中国人にとっては具体的な説明を聞かないと分からないのです。翻訳するときもよく注釈文をつけて説明します。

また、中国語にも「万元戸」、「秧歌」、「倒爺」などがあって、適当な日本語はないのです。さらに、日本人は自ら独特な文字を造っています。例えば「峠」、「畑」、「躰」、「込」、「榊」、「辻」

などは中国語にはこういう漢字はありません。

4. ま と め

日中両国は同じ意味で使うことばも少なくありませんが、意味のずれることばもかなりあることは前に述べました。今の所、中国語の漢字は5万近くあり、日本語の当用漢字も5千あると言われていますが、中国語を勉強する日本人と日本語を勉強する中国人とは同じ漢字でも異なる意味があることに注意して勉強しなければなりません。

福井工業大学林正巳教授を始め、諸先生方から御指導と御励ましをいただきまして謹んで厚く御礼申し上げます。

参 考 文 献

現代漢語八百詞
標準中国語会話
漢語の知識
現代漢語辞典
漢字の知識